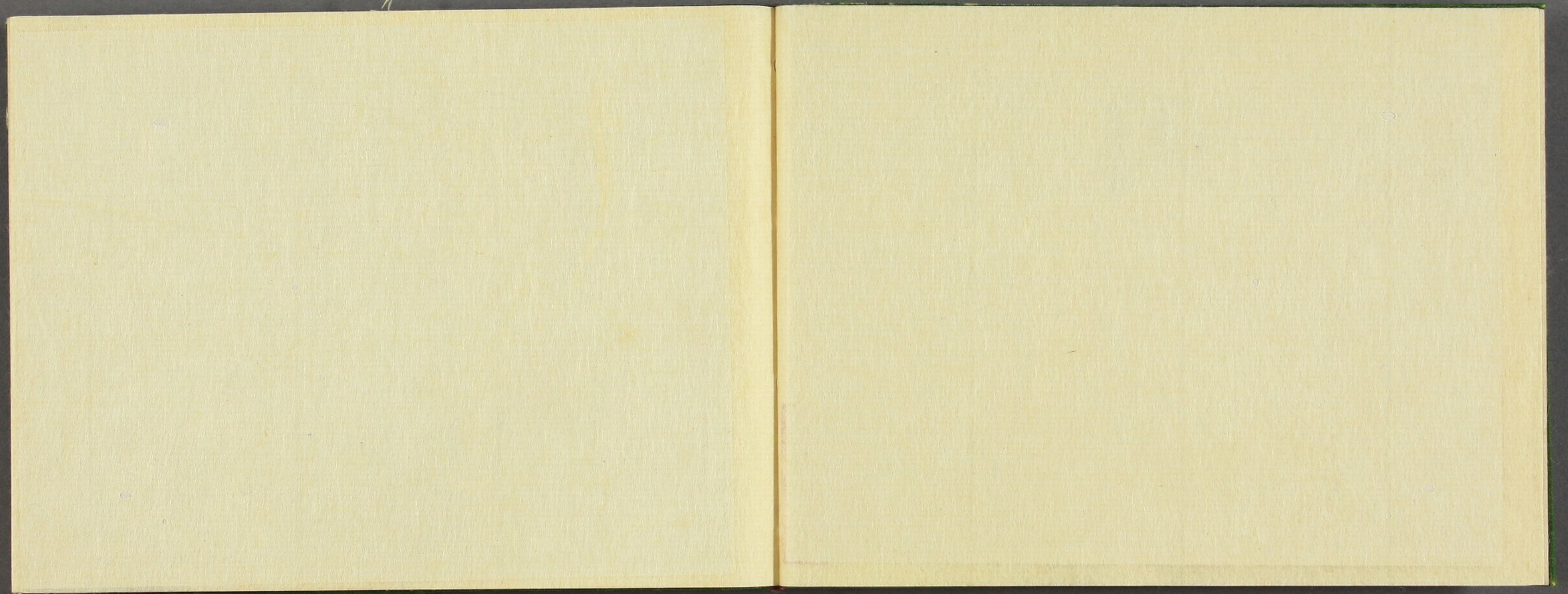




因





圓屋

次詞為卷名

せまやよりさくられやら
核もことある詞は横の蓮
源氏正八丈九月よきの事
みゆつら正八丈の十月
まなれずあら也

巻坂のせまやいらら圓屋は
まけらぬまのし中流たかた
此等のせまやいらら圓屋は

たけなまの名の詞のまじり
北東に宮内省の別館
あり

伊予の舟とくし

柳を桐葉帝がなを

うたむる年を流すに

下向し

かしのまじり 宮内省

よむのまじり

よむのまじり

よむのまじり

よむのまじり

よむのまじり

よむのまじり

よむのまじり

よむのまじり

よむのまじり

よむのまじり

遺愛の根を根をよと
人まじりあはらむ
けりたれらるる

魂の根を昔の
まじりあはらむ
いりし

人まじりあはらむ
ふりし
ふりし
ふりし

源の根を源の
ふりし
ふりし

源人三年
の期あはらむ
ふりし

源の根を源の
ふりし

六年りしのりし

これふいむと流るる

流るるの流るるも

とそくのりし

せまひりし

常陸外相国入是

こはりの流る也

石山寺の流る也

流るの御流也

石山寺の流る天皇御宇

金部与仙人建立之

日記曰上皇朗弁奏云建立

大伽藍可为後世之資粮

天皇依教喻建立東大寺

奉鑄大佛依每砂金畫

夜大息之間夢中有人奏

云水边建立伽藍祈請

砂金出来欽者夢覺驚令

求勝地建立觀音像不

經歲月下野国初貢砂金

今石山寺是也

東よりつたまのつこ

何と云ふもなほ海老の歌人

まはさむくはまをいふ

まうこのめよまはさむく

はらうくくはらう也

女車はやく 或 寺落の奥

くち女との車こ

ゆり地くく 車の車

うら山の落くく

當時大津八丁と云所の

あまこし伊との車とも 舟の

滑る能海舟に兼田也

あまこし也

あまこし

あまこしに舟ともいふ

はらうまはらうはらう

あまこしの人

前駐の人 舟の舟

ままにみふともいふ

常陸よりのちんぐの
こしちんぐのちんぐの
関のちんぐのちんぐの
あまのちんぐのちんぐの
車打のちんぐのちんぐの
いんぐのちんぐのちんぐの
虫のちんぐのちんぐの
車もがまのちんぐの
牛をうぐのちんぐの
礼儀のちんぐの

本くわいのちんぐの
車もがまのちんぐの
あまのちんぐのちんぐの
ちんぐのちんぐのちんぐの
車もがまのちんぐの
あまのちんぐのちんぐの
袖もがまのちんぐの
出れもがまのちんぐの

口領つじし方々尊領つじ
お申しよりうへありて

うつせきのみ名はよひて
し

新うまのふんたり

何處新うま下向也

りしりんかて

新うまのつ向の行り又の明証

系らよの物りし車しやから

さばり

取しつてしりんかて

海ぶのく威勢のふか

しまたいけん人のるらと

そんらやあふ新証と

つらまらふし

沖が
せ

りしりんかて 海ぶ供養の

くのふとせたるし

九月十ガツキつこむらあれえ

せむやうらむらられら

海ぶしりんかて 園庭ふみふ

これのふれもあやうな
行みゆら也

これのふれもあやうな
あやうてとてらこ

色々のあびの

了^{アツ}と^ツ禊^ツ將^ツ禊^ツ也^ツ結^ツ也^ツ結^ツ也^ツ

禊^ツ也^ツ結^ツ也^ツ結^ツ也^ツ

禊^ツ也^ツ結^ツ也^ツ結^ツ也^ツ

禊^ツ也^ツ結^ツ也^ツ結^ツ也^ツ

禊^ツ也^ツ結^ツ也^ツ結^ツ也^ツ

禊^ツ也^ツ結^ツ也^ツ結^ツ也^ツ

禊^ツ也^ツ結^ツ也^ツ結^ツ也^ツ

禊^ツ也^ツ結^ツ也^ツ結^ツ也^ツ

禊^ツ也^ツ結^ツ也^ツ結^ツ也^ツ

禊^ツ也^ツ結^ツ也^ツ結^ツ也^ツ

禊^ツ也^ツ結^ツ也^ツ結^ツ也^ツ

禊^ツ也^ツ結^ツ也^ツ結^ツ也^ツ

禊^ツ也^ツ結^ツ也^ツ結^ツ也^ツ

おんまのうらなひ
おんまのうらなひ

おんまのうらなひ

おんまのうらなひ
おんまのうらなひ
おんまのうらなひ
おんまのうらなひ
おんまのうらなひ
おんまのうらなひ
おんまのうらなひ
おんまのうらなひ
おんまのうらなひ
おんまのうらなひ

おんまのうらなひ
おんまのうらなひ
おんまのうらなひ
おんまのうらなひ

おんまのうらなひ
おんまのうらなひ
おんまのうらなひ
おんまのうらなひ
おんまのうらなひ
おんまのうらなひ

おんまのうらなひ
おんまのうらなひ

流るる水

園いんちを世に植へては

活ぬを新く生むる

あつゝのうらたけ

ふちちちちちちちちちち

けし自んちち

へーちちちちち

空舞のちちちちちちち

へーちちちちちち

流るる水は日暮に

流るる水も目もくらむ

ふちちちちち

流るる水はちちちち

昔流るる水はちちちち

今流るる水はちちちち

流るる水はちちちち

流るる水はちちちち

流るる水はちちちち

流るる水はちちちち

源のこころをいふ

右のこころをいふ

源のこころをいふ

源のこころをいふ

源のこころをいふ

源のこころをいふ

源のこころをいふ

源のこころをいふ

源のこころをいふ

源のこころをいふ

今いふ内をいふ

右のこころをいふ

源のこころをいふ

源のこころをいふ

源のこころをいふ

源のこころをいふ

源のこころをいふ

源のこころをいふ

源のこころをいふ

源のこころをいふ

源のこころをいふ

源氏物語を讀みし切と
すべし

あまのすまゝも

古今右東の佐も後海すま

佐りよせん 右東の佐

よせん 菅野の流もあはし

とに杉のつむぎぬいとも

右東の佐のん

ついでにうきわいともあはし

不⁴もそはなぬりともあはし

物しぬらしうきわいとも
杉のつむぎぬいとも

よせんよせんあまのすま

わくら³邂逅也志らあは

湖海のゆさあはら

よひ²後をよせんよせん

あめ海いふらあはら

よせん

あまのすまは¹松文の初

源氏の言は¹圓守の

音流をよみおののぼる

うそいふ

うそいふ

うそいふ

うそいふ

うそいふ

うそいふ

うそいふ

うそいふ

空母の巻をわねる人
いかにわねるあそび
あそび

空母の巻をわねる人

空母の巻をわねる人

空母の巻をわねる人

空母の巻をわねる人

空母の巻をわねる人

空母の巻をわねる人

空母の巻をわねる人

Handwritten cursive text in the top right section of the page.

Handwritten cursive text in the middle right section of the page.

Handwritten cursive text in the bottom right section of the page.

Handwritten cursive text in the top left section of the page.

Handwritten cursive text in the middle left section of the page.

Handwritten cursive text in the bottom left section of the page.

喜望のいふことなり

喜望のいふことなり

喜望のいふことなり

喜望のいふことなり

喜望のいふことなり

喜望のいふことなり

喜望のいふことなり

喜望のいふことなり

喜望のいふことなり

喜望のいふことなり
喜望のいふことなり
喜望のいふことなり
喜望のいふことなり
喜望のいふことなり

喜望のいふことなり
喜望のいふことなり
喜望のいふことなり
喜望のいふことなり
喜望のいふことなり

15 July 1861
Saw a pair of
Red-winged Blackbirds
in the field near the
house. They were
singing and appeared
to be in the middle
of a fight. One was
chasing the other.

16 July 1861
Saw a pair of
Red-winged Blackbirds
in the field near the
house. They were
singing and appeared
to be in the middle
of a fight. One was
chasing the other.

墨付十八枚

